

2014年7月17日
東京急行電鉄株式会社
東日本旅客鉄道株式会社
東京地下鉄株式会社

渋谷駅街区開発計画 期（東棟）の工事着手について

東京急行電鉄(株)と東日本旅客鉄道(株)および東京地下鉄(株)の3社は、いよいよ
8月より渋谷駅街区開発計画 期（東棟）の工事に本格着手いたします。

当計画については、2013年6月17日に東京都より都市再生特別措置法に基づく都市再生特別地区の都市計画決定がなされ、今回の工事着手に向けて準備を進めてまいりました。

当計画建物は日本を代表するターミナルである渋谷駅の直上に位置し、東棟・中央棟・西棟の3棟で構成される延床面積約27万㎡の大規模開発です。期として今回着工する東棟は、東横線・副都心線、JR線、銀座線に直結し、乗換利便性の向上とともに、駅から街への人の流れの玄関口の機能を担います。また、高さは渋谷エリア最高となる約230メートル、地上46階建、高層部にはアジアのヘッドクォーター機能を担うにふさわしいハイグレードオフィス、中低層部には世界から集客し街の賑わいにつなげる大規模商業施設を設け、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催時には名実ともに街のシンボルタワーとなり、渋谷の発展を加速させます。

全体完成は、期(中央棟・西棟)が竣工する2027年度を予定しています。

当計画は大規模ターミナル駅を中心とする都市再生のモデル的プロジェクトとなるとともに、世界中から常に注目を集める「エンタテインメントシティしゅばや」の核となることを目指し、引き続き事業を推進してまいります。

今回工事着手する渋谷駅街区開発計画 期(東棟)の概要は別紙のとおりです。



東急電鉄



(別紙)

渋谷駅街区開発計画 期(東棟)の計画概要

事業主体 東京急行電鉄株式会社 東日本旅客鉄道株式会社 東京地下鉄株式会社

所在 東京都渋谷区渋谷二丁目23番 外

用途 事務所、店舗、駐車場等

延床面積 約174,000㎡ (参考 全体完成時 約270,000㎡)

階数 地上46階 地下7階

高さ 約230m

設計者 渋谷駅周辺整備計画共同企業体

- ・(株)日建設計
- ・(株)東急設計コンサルタント
- ・(株)ジェイアール東日本建築設計事務所
- ・メトロ開発(株)

デザイナー・アーキテクト

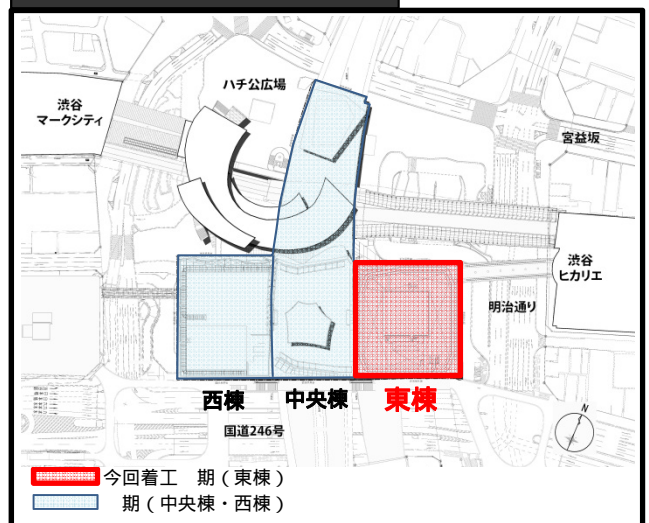
- ・(株)日建設計
- ・隈研吾建築都市設計事務所
- ・SANAA事務所

施工者 渋谷駅街区東棟新築工事共同企業体

- ・東急建設(株)
- ・大成建設(株)

予定工期 2014年度～2019年度

渋谷駅街区開発計画 位置図



オフィス

- ・渋谷駅周辺最大級となる賃貸面積約70,000㎡のハイグレードオフィス

交流施設

- ・クリエイティブ・コンテンツ産業のイノベーションを促進する交流施設

商業

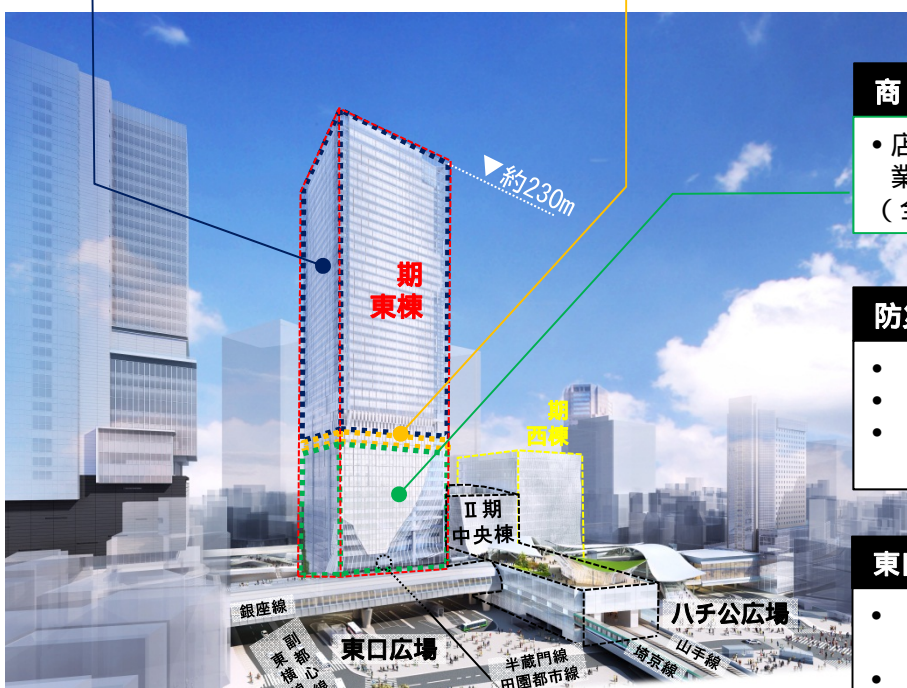
- ・店舗面積 約30,000㎡ の大規模商業施設 (全体完成時・駅直上約70,000㎡)

防災対応機能の整備

- ・帰宅困難者受入れ空間の確保
- ・防災備蓄倉庫の整備
- ・高効率で自立性の高いエネルギーシステムの導入

東口立体交通広場の整備

- ・街へのアクセス性や鉄道乗換の利便性・快適性の向上
- ・アーバン・コアによりつながれた多層にわたる空間



全体完成イメージパース



宮益坂交差点方面より望む